

製品名: テンシン 3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18795**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	TNS3
別名	TNS3; TEM6; TENS1; TPP; Tensin-3; Tensin-like SH2 domain-containing protein 1; Tumor endothelial marker 6
遺伝子 ID	64759.0
SwissProt ID	Q68CZ2
免疫原	抗血清はヒト TENS3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 541-590

背景

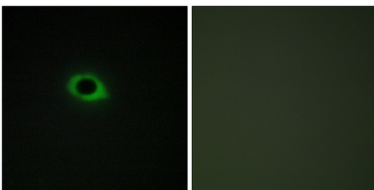
機能: アクチンリモデリングに関与している可能性があります。インテグリン-テンシン-アクチン複合体の解離に関与していま

す。EGFはTNS4を活性化し、TNS3をダウンレギュレーションすることでITGB1の末端をキャップします。乳腺細胞の移動に関与しているようです。細胞移動と骨の発達に関与している可能性があります。誘導:EGFはダウンレギュレーションを誘導します。PTM:上皮成長因子(EGF)は、時間と用量依存的にチロシンリン酸化を誘導します。類似性:C2テンシン型ドメインを1つ含みます。類似性:ホスファターゼテンシン型ドメインを1つ含みます。類似性:SH2ドメインを1つ含みます。サブユニット:EGFはEGFRとの相互作用を促進します。PTK2およびBCAR1と相互作用します。これらの相互作用にはチロシンリン酸化が極めて重要です。組織特異性:臍帯静脈内皮細胞、上皮細胞、線維芽細胞(タンパク質レベル)で発現しています。甲状腺、腎臓、胎盤で高発現しています。心臓、骨格筋、脾臓、肝臓、肺では低発現です。腫瘍内皮細胞で発現しています。甲状腺腫瘍組織および未分化癌では発現が低下しているようです。機能:アクチンリモデリングに関与している可能性があります。インテグリン-テンシン-アクチン複合体の解離に関与しています。EGFはTNS4を活性化し、TNS3をダウンレギュレーションすることでITGB1の末端をキャップします。乳腺細胞の移動に関与しているようです。細胞遊走および骨の発達に関与している可能性があります。誘導:EGFはダウンレギュレーションを誘導します。PTM:上皮成長因子(EGF)は、時間依存的および用量依存的にチロシンリン酸化を誘導します。類似性:1つのC2テンシン型ドメインを含みます。類似性:1つのホスファターゼテンシン型ドメインを含みます。類似性:1つのSH2ドメインを含みます。サブユニット:EGFはEGFRとの相互作用を促進します。PTK2およびBCAR1と相互作用します。チロシンリン酸化はこれらの相互作用に不可欠です。組織特異性:臍帯静脈内皮細胞、上皮細胞、線維芽細胞で発現します(タンパク質レベル)。甲状腺、腎臓、胎盤で高発現します。心臓、骨格筋、脾臓、肝臓、肺では低発現です。腫瘍内皮細胞で発現します。甲状腺腫瘍組織および未分化癌では発現が低下しているようです。

研究分野

シグナル伝達; 細胞骨格/ECM; 細胞外マトリックス; 構造; 接着斑; 骨

画像データ



TENS3抗体を用いたCOS7細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。